

学校運営協議会の報告書 (学校関係者評価)

学校名	北秋田市立清鷹小学校	学校運営協議会	10月20日
校長名	大高聖子	開催日	
学校教育目標	清らかで たくましく ～よく遊び よく学び みんなで輝け～		
項目	1 活性化のための取組		
学校の取組概要	愛 ふるさと協育 清鷹はひとつ 地域と共に～北秋田かがやきプロジェクトS ※ふるさと協育を土台とし、友達、教師、家庭、地域と関わることによって、互いのよさを認め合い、何事にも粘り強く取り組み、協力し合って学校を創り上げていこうとする子どもを育む (1) 清鷹小が育む五つの資質(主体性、協調性、創造性、自他肯定感、たくましさ)を重視した教育活動の展開 ①主体的に学習に向かう子ども (ねらいとゴールを明確にした授業づくり、学び合いを支える教師の支援、タブレットの活用) ②思いやりの心を持ち、共に高まろうとする子ども (異年齢活動、あいさつの活性化) ③心身ともに健康で、粘り強くがんばる子ども (がんばりの賞賛、業間運動、食育) (2) 地域と共に歩む学校を目指して ①地域の特色を生かした学校経営(長岐邸、元堰、高速道路、空港、内陸線、たかのす校等) ・「古(いにしえ)から未来へ」…様々な史跡、交通網、福祉施設等を学習材に ・世界遺産の伊勢堂岱遺跡を中心とした取組(大湯小とのオンライン交流、縄文まつり) ・地域の伝統芸能の継承(駒踊り、奴踊り) ②関係機関や地域との協働・連携 ・陽清学園との緊密な連携(年4回の情報交換会の継続) ・比内支援たかのす校との交流会(たなばた集会S61～) ・地域人材の活用 ・民生・児童委員との連携 ・スクールガード ・清鷹ボランティア ・学校応援サポーター ・沢口公民館、七日市公民館、自治会館、自治会長会との連携 ・保育園、こども園、鷹巣中学校との学校間・校種間の連携	自己評価	4 . 3 . 2 . 1
	委員の意見等	・統合三年目で両地域とこれくらい連携がとれていてすばらしい。保育園との連携もできている。今後も工夫・改善しながら、継続して行ってほしい。 ・駒や奴、清鷹祭のしおりなど、地域の人は大変喜んでいる。このような取組を積み重ねて行ってほしい。 ・スクールガード始め、地域の方がとても協力的だからこそできていることもある。今後も地域とのつながりを大切にしてほしい。	
	今後の施策	・伝統芸能は、指導方法はじめ、どのように取り組んでいったら継承できるかを今後の検討課題としたい。 ・働き方改革の視点から、学校運営協議会や地域でできることを検討していきたい。	
	項目	2 知育	
学校の取組概要	【学びイキイキ：主体的に学習に向かう子ども】 (1) 「算数科」を研究教科とした校内研修の推進 (研究主題)「子どもの『分かる』に寄り添う教育をめざして」 ～みんなで見つける みんなでひろげる みんなでつくる～ (2) 学習習慣の定着に向けた指導 ・「清鷹の学び」「学習の約束」「清鷹の振り返り」の共通実践 ・学習強調月間の設定 (3) 自ら学ぶ意欲と態度の育成 ・効果的な家庭学習(宿題・自主学習)の指導 ・ノート展の実施 (4) 個に応じ、個の力を伸ばすための支援 ・児童の考えを生かす学び合い ・効果的な指導(算数TT)と個に応じた支援の工夫 ・ICT(タブレット)の活用 (5) 朝学習の活用 【水曜日…算数ドリル学習(7年部の協力)、木曜日…読書】	自己評価	4 . 3 . 2 . 1
	委員の意見等	・清鷹祭でも元気な子どもの姿を見ることができたが、今日の授業でも子どもたちが元気に発表している姿を見ることができた。 ・タブレット操作に個人差があるか。もしあるとしたら、授業でスムーズに使えるように工夫してほしい。また、鷹巣中学校や同じ鷹巣中学区の小学校との連携も必要ではないか。 ・算数科のTT指導は、効果が表れるように工夫してほしい。	
	今後の施策	・タブレットを授業で効果的に活用できるよう、さらに研修を深めていきたい。また、中学校へスムーズにつながるように鷹巣中学校区の小・中学校と連携していきたい。 ・算数科におけるTT指導に関しては、そのよさを最大限に発揮出来るように努めていきたい。	

項目 3 徳 育		自己評価
学校の取組概要	<p>【心ワクワク：思いやりの心もち、共に高まろうとする子ども】</p> <p>(1) 規範意識をもち、楽しい学校生活を送ろうとする児童の育成 ・「清鷹っ子の学校生活のきまり」の共通理解、共通実践</p> <p>(2) 児童理解に基づく指導や支援の充実 ・学校適応調査「アセス」の実施や「Ho(ほめる) K(聞く) U(促す)」の共通実践</p> <p>(3) 人権教育の推進（多様性を育む） ① 他校との交流活動（4年・全校：比内支援たかのす校） ② 認知症サポート講座、幼保小連携協議会</p> <p>(4) 自己有用感を高める取組※振り返りの充実（がんばりを認める、ほめる） ① 学級目標の設定、異学年交流（清鷹ウォークラリー、スノーフェスティバル） ② 当番・係活動の工夫、道徳コーナーの設置 ③ あいさつ（児童総会、あいさつ運動、あいさつシール、校内あいさつロードなど）</p> <p>(5) 不登校、いじめ等学校不適応への対応 ① 児童支援担当を中心とした相談活動により、早期発見・早期対応に努める ② 「いじめアンケート」や学校適応調査（アセス）の活用</p>	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは昨年度より少しよくなってきている感じがする。相手に伝わるような声や表情であいさつできるよう、家庭と連携しながら繰り返し指導してほしい。 ・比内支援たかのす校や保育園などとの交流は、多様性を理解したり、思いやりの心を育てたりする上でとてもよいことだと思うので、継続して取り組んでほしい。 ・認知症サポート講座の後、オレンジリングをカバンに付けている子どもを見かけた。福祉の心を育てる取組になっている。 	
今後の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに関しては、児童主体の活動を工夫したり、PTAやおたよりで呼びかけるなどして家庭と連携しながら根気よく取り組んでいきたい。 ・児童支援担当を中心とした陽清学園との定期的な情報交換や毎週の児童を語る会を継続し、きめ細かな児童理解に努めたい。 	
項目 4 体育・健康教育		自己評価
学校の取組概要	<p>【体イキイキ：心身ともに健康で、粘り強くがんばる子ども】</p> <p>(1) 【体育指導】 体力作りと運動意欲の高揚 ① 季節や実態に合わせた業間活動や外遊びメニューの工夫 ② 体育の時間の準備運動の充実</p> <p>(2) 【保健指導】 自分の健康状態への関心と必要な知識や態度を身に付けさせる ① むし歯予防や肥満傾向の児童への指導並びに「食」に関する指導 ② 学校保健委員会やPTA研修会の実施</p> <p>(3) 【清掃指導】 全校縦割り班清掃により、協力し合って清掃に取り組む習慣作り</p> <p>(4) 【給食指導】 望ましい食習慣の形成と感謝の心の育成 ① 栄養教諭による「食」の授業の実施 ② バランスのとれた食事の指導 ③ 1年生保護者給食試食会、食育に関するPTA研修会</p> <p>(5) スポ少活動の奨励、協力</p>	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス登校の関係で、体力低下はある程度仕方がない。業間運動や体育の準備運動などで補ってほしい。 ・PTAで全児童に万歩計を配付し、一日の歩く歩数を比べてみるのもよいのではないかと。他校で、取り組んでいるところがある。 ・年長児の給食体験や一年生の保護者を対象にした試食会は、食育を進める上でとてもよい取組だと思う。 	
今後の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上のために、業間運動や体育の時間での運動量の確保に務めていきたい。また、万歩計を活用した取組も、PTAと連携して取り組めるよう検討していきたい。 ・健康面（むし歯予防、食育など）は、家庭と連携しながら、また、専門家の力も借りながら指導できるよう工夫していきたい。 	